

医療ソーシャルワーカー（MSW）の勤務継続意思と給与満足度との関連について

- 労働環境要因を中心に -

北海道大学大学院医学研究科 岡田 栄作（007500）

木川 幸一（国立病院機構北海道がんセンター・007463） 蒲原 龍（道都大学・007111）

志渡 晃一（北海道医療大学・004278）

キーワード：医療ソーシャルワーカー、離職要因、メンタルヘルス

1. 研究目的

近年の社会福祉施設等の現場では、急速なヒューマンサービスの需要の拡大に追いつかず、労働状況の悪化、過度の時間外勤務などによる離職が深刻になってきている。2008年（平成20年）介護労働安定センターの介護労働実態調査¹⁾によれば、介護職員の昨年の離職率は25.3%に上り、全産業の平均離職率16.2%（厚生労働省2006年調査）に比べて高い水準を維持している。介護職員の労働条件の不満として「賃金が低い」と回答した労働者は58.3%にも上った。離職理由として賃金の問題を挙げた労働者は21.8%であり¹⁾、給与が離職に影響を及ぼす可能性が示唆されている。

しかし、福祉職の離職問題については、介護職員のみが焦点が当たり、他の福祉職の労働環境についての報告は少なく、エビデンスが得られていない。

そこで本研究では、福祉専門職の中でも医療ソーシャルワーカー（MSW）に焦点を当て、MSWの勤務継続意思、職場満足度などを調査し、介護職員のように賃金の影響が、勤務継続意思に及ぼすのかどうか調べ、MSWの労働環境の現状について明らかにすることを目的とした。

2. 研究の視点および方法

2008年12月に北海道医療ソーシャルワーカー協会全会員836名を対象として、無記名自記式調査票による郵送調査法にて実施し、同意の得られた278名（回収率33.9%）のうち、現在常勤のワーカーとして、週35時間以上勤務したと確認出来た248名を解析対象とした。調査項目として 基本属性、勤務継続意思（職種継続意思、職場継続意思）、職業性ストレス、心理的・身体的ストレス、ソーシャルサポート、職務満足度（仕事、職場、設置主体、私生活、給与）・生活満足度、CES-D（抑うつ症状）SOCスケール（ストレス対処能力）を設定した。回収した質問紙票をもとに、集計、解析を行った。分析にあたり、給与満足度については、「報酬（給与）に満足している。」という質問項目に“満足”、“まあ満足”と回答した群を「給与満足群」、「やや不満足」、「不満足」と回答した群を「給与不満足群」と分類し、曝露要因とした。勤務継続意思については、「現在の職場での勤務を続けたいですか」、「現在の職種を続けていきたいと思いませんか」という質問項目に

“とても続けていきたいと思う”、“続けていきたいと思う”と回答した群を「継続意思あり群」、 “あまり続けていきたいと思わない”、“続けていきたいとは思わない”と回答した群を「継続意思なし群」と分類し、アウトカムとした。その他、調査項目の中から、基本属性、CES-D（抑うつ症状）、職業性ストレスと心理的・身体的ストレス反応とソーシャルサポートの項目をセカンダリーアウトカムとした。解析方法について、単変量解析は、Fisherの正確検定と独立な2群のt検定を各変数の性質を考慮し、用いた。多変量解析は、性や年齢を交絡要因として、調整し、ロジスティック回帰分析を用いて解析した。

3. 倫理的配慮

調査対象となる北海道医療ソーシャルワーカー協会全会員について、1)結果の公表にあたっては、統計的に処理されるため、個人を特定されることはない、2)得られたデータは、研究以外の目的で使用しない。3)この研究に参加しないことでの不利益はなく、かつ途中での同意撤回を認めるという3つの条件を書面において十分に説明し、同意した対象者のみ質問紙票に記入を依頼した。

4. 研究結果

勤務継続意思について、「職場継続意思あり群」に分類された対象者は、男性69名（72.6%）女性103名（63.9%）であり、「職種継続意思あり群」に分類された対象者は、男性76名（80.0%）女性128名（79.5%）であった。給与満足度について、「給与満足群」に分類された対象者は、男性43名（45.7%）女性69名（44.0%）であった。勤務継続意思と給与満足度との関連について、職場継続意思は、男女ともに有意な関連（ $p < 0.01$ ）を示したが、職種継続意思とは、有意な関連を示さなかった。

本研究の結果、給与の満足度は、職場の継続意思には影響を与える可能性があるが、職種を変更するまでの影響力ではない可能性が示唆された。詳細な考察については、当日発表する。

研究の限界としては、本調査は回収率（33.9%）が低く、ノンレスポンスバイアスを考慮に入れる必要がある。また、統計学的に必要な例数が不足しているため、解析の推定値の解釈には注意が必要である。